

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

国内改革のために荒療治が必要 三品 和広 (神戸大学大学院教授)

1. 日本の企業社会は紛れもなく激変の時代に突入した。そこで求められるパラダイム転換を理解するカギは、何げなく使われる「安心」という言葉の奥に潜んでいる。日本企業は、従業員が安心して技能の習熟や技術の開発に邁進できるよう、終身雇用を標榜してきた。同様に、経営者が安心して雇用維持を優先できるよう、内部留保を厚くする一方で、株式の持ち合いを進め、経営と株式市場の間に緩衝地帯を設けてきた。さらに、事業面では総合化を志向し、何々のデパートと呼ばれることを是としてきたのも、安心を買う方策と理解できる。
2. ところが、ここにきてリストラは日常茶飯事となり、中途採用を併用する企業も珍しくない。そしてROE経営を標榜し、内部留保の株主還元策に乗り出す動きも顕著になってきた。株式の持ち合い構造は音を立てて崩れ始め、ファンドを迎え込む買収防衛策も趨勢は撤廃である。事業の総合展開にも再編・解体の波が押し寄せている。
3. しかしながら、パラダイム転換は待ったなしである。ベルリンの壁が倒れ、グローバル競争の火ぶたが切られてから四半世紀のあいだ、日本は蚊張の外に身を置いてきた。くしくも同じタイミングでバブルがはじけ、日本は国内の改革に追われたからである。遅れを取り戻そう思うなら、ここは荒療治に出ざるをえない。
(参考:「週刊東洋経済」2016年1月30日号)

経営者のための理念・哲学

掃除の実践で会社が激変

鍵山秀三郎 (日本を美しくする会相談役)

1. 創業当初、私の会社に来てくれるような人はどこへ行っても長続きせず、方々を渡り歩いて、心が荒み切っている人ばかりでした。この人たちの心をどうやって穏やかにするかということが、私に課せられた最大の課題でした。社員はゴミ箱を蹴飛ばしたりして、口で言っても直らない。文書で示しても伝わらない。だとしたらもうこれは環境を綺麗(掃除をする)にして、伝えるべきことが伝わりやすい状況をつくり出すしかないと思いました。
2. ところが、私が手掛けた商売はカー用品の販売(イエローハット)なのですが、当時は業界全体が汚く、荒っぽい状態でした。何でうちだけがそんなことをするのか、とそれは大変な反発を喰らってしまいました。中には私が掃除する手をまたいて通る人までいました。会社の車を私は毎日綺麗に洗いました。雨が降っても欠かさず続けました。そうして来る日も来る日も掃除の実践を続けるうちに、会社が激変していったのです。
(参考:「致知」:2016年4月号)

経営者のための経済学

マイナス金利のコストは誰が負担するのか

野口悠紀雄(早稲田大学ファイナンス総合研究所顧問)

1. 日本銀行は、マイナス金利を導入した。その目的は、短期金利を低下させ、それを通じて長期金利を低下させることだ。これによって外国金利との差を拡大させ、円安を進めようというのが目的である。マイナス金利は、欧州中央銀行で2014年導入されている。この政策の問題点は、政策のコストを誰が負担するのかである。銀行の収益が悪化する。
2. 銀行はこのコストを他の手段で取り戻そうとするだろう。第1は、預金金利の引き下げだ。すでに定期預金金利を引き下げる動きが生じている。しかし、これで損失をカバーできるかどうか分からない。第2の方策は、貸付金利を引き上げることだ。事実、スイスでは住宅ローンの貸付金利が上昇している。そうなると、長期金利が低下する一方貸付金利が上昇することとなり、金融市場は混乱する。
(参考:「週刊ダイヤモンド」2016年2月20日号)

古典に学ぶ

教理としてより推進力となった

(解説) 神道の教義は、日本民族の感情生活の支配的な二つの特徴、愛国心と忠義を含んでいる。この宗教、あるいはこの宗教が表現した民族感情といったほうがもっと正確だろうが、武士道に君主への忠義と国への愛とを徹底的に吹きこんだのだった。そしてこの忠君愛国心は、教理としてよりはむしろ推進力として働いたのだった。
(参考:佐藤全弘訳新渡戸稲造著「武士道」:教文館)